

## 第55回「電気通信産業功労賞」受賞

2022年11月22日に開催された第55回電気通信産業功労賞贈賞式において、ドコモ・テクノロジー株式会社の大森 博雄、6G-IOWN推進部の原田 篤が電気通信産業功労賞を受賞しました。

同賞は、電気通信技術の普及・啓発活動などに取り組む一般社団法人電気通信協会（昭和13年設立）が表彰しているもので、電気通信事業またはこれに関連する事業に従事し、創意工夫により業務改善をあげ、あるいは機器の開発・改良により、事業の発展に貢献された方の功績を顕彰するものです。

大森は、等化アルゴリズムや第4世代無線アクセス方式の研究に従事しながら、3GPP（3rd Generation Partnership Project）標準仕様策定業務を牽引し、国内外の移動通信ネットワークで利用可能な第3世代移動通信端末の商用化に大きく貢献しました。その後、移動通信ネットワークの設計業務に従事し、インド「タタドコモ」の第3世代移動通信の導入支援を行い、また、第4世代移動通信のVoLTE・

データ通信の高速化、第5世代移動通信端末の商用化を実現するなど、長きにわたり新たな通信サービスを提供することに貢献したことが大きく評価されて今回の受賞となりました。

原田は、第3.9/4世代移動通信方式の実証に貢献し、その後、第5世代移動通信システムの実証実験およびパートナー企業とのトライアルを通じたユースケース協創に従事し、5Gの先進性アピールとパートナー連携促進やパートナーソリューションの事業化企画や国産MECの事業化に携わり、ドコモオープンイノベーションクラウド（現、docomo MEC）商用提供開始に貢献しました。第3世代から第5世代までの移動通信システムにおける無線方式の研究・標準化および開発に貢献したことが大きく評価されて今回の受賞となりました。

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

